

卓 話

平成 23 年 2 月 22 日

『株式会社モリイ 会社案内』

岐阜中ロータリークラブ 森井脩次会員

今回の卓話は、私の会社の説明をさせていただきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

私の職業分類は刻印機製造業です。

刻印機とは、本日出席していただいています皆さんには、どのような機械かわからないと思いますので、まず始めに取引先の説明からさせていただきます。

当社の取引先は、みなさんの身近なところとしては、トヨタや三菱といった自動車製造メーカーを始め、ヤンマーやクボタといった農業機器メーカーがあり、このようなメーカーが使用している鉄を作る鉄鋼メーカーとも取引があります。また若干特殊な業界では、皆さんの家庭にも必ず置いてあるかと思いますが、LP ガスの容器や、皆さんが毎晩飲まれるビールのサーバーの横に置かれている緑色の容器、いわゆる酸素ボンベ等といった容器を製造するメーカーや建築業界の方には身近な製品として使われる足場といわれる「仮設パイプ」を製造するメーカー。また皆さんも大好きだと思えます業界では「金」を製造するメーカーやゴルフのヘッドを製造するメーカーを主に取引先にさせていただいております。

では、ここでもう少し今ご紹介した業種を具体的に例を挙げてご紹介したいと思います。

自動車・農業機器では、当たり前ではありますが、必ずエンジンが必要となります。そのエンジンを 1 台 1 台管理する事で、盗難防止や偽造防止など国土交通省が定めた防止対策の為に、機種と製造番号を刻印しています。又、同様に車体にも管理する為の番号が刻印されています。

是非一度皆さんの乗られる車を確認して下さい。車のボンネットを開けますと正面に製造No.が刻印されています。

刻印を打刻する理由は先程説明した通り、盗難防止や偽造防止であります。打刻する意味があります。もしインクやシールで製造番号を管理すると色が取れたり、シールがはがれてしまいます。実は各自動車メーカーが定める打刻の深さに意味があり、深さを 0.3~0.4mm と定めています。聞くだけでは浅く感じますが、打刻の世界では大変深い打刻の深さであります。この 0.3mm を故意に削り落とし、新たに製造番号を打刻して市場に販売すると、エンジンの重量が異なる為、盗難車と判別されてしまいます。同様に市販されている車のエンジンを外し、製造番号を削り落とし、オリジナルで製造した車体に載せても重量の違いから偽造車と判別されてしまいます。

普段余りに留めないこの製造番号は、実は各社、大変管理に気を注いでおります。文字の形、いわゆる書体をオリジナルで作し、各社で判別しているくらい重要な位置付けとなるのが、刻印であります。

次に鉄を作る鉄鋼メーカーでも、やはり製品に刻印を押し、製品の管理をしています。時々テレビで鉄鋼メーカーが材料を製造している映像で、赤くなった材料がラインから出てくる所を見ますが、その赤い材料に刻印が押されています。それは全て材料を管理する為に刻印が押されています。製鉄メーカーが作る材料を社内でいつ、どの炉で製造されたか管理する事で、不具合があつた



時、また事故、災害などが発生した時に確認する為だと聞いています。ちょうど一年程前に北朝鮮が韓国の船に爆弾を打ち込んだ時に爆弾が北朝鮮製であることがわかったのは、刻印が北朝鮮の書体であった事を確認したようです。

次に LP ガス容器や酸素ボンベ等の容器メーカーの紹介をしたいと思います。先程も冒頭に紹介したとおり、皆さんの家庭で使用されている容器が、ガスボンベであります。帰宅したときお時間ありましたら是非一度ご確認いただければと思います。ちょうど R 形状になっている上面に色々な文字が円弧状に配列した刻印が確認できるかと思います。いつどこでどの工場で製造したか。また重量や容量を一本一本全ての容器が把握できるように刻印で管理されています。また今夜飲み屋に行かれビールを注文される際に、是非お店に酸素ボンベを見せてくれるよう要求してみてください。常連の皆さんの要求にはお店も嫌な顔はしないかと思います。この酸素ボンベも LP ガス容器同様に、製造工程上、刻印で管理されています。実はこの容器業界は、40 年以上前に大惨事を引き起こした爆発事故がありました。その後、国の PL 法により、製造管理を強化する方法として全ての容器に深さを満たす打刻が用いられた経緯があります。この容器は、先程冗談で説明したビールの容器を始め、病院で使用する酸素ボンベ、また工場や建設現場で溶接などに使用する酸素ボンベ、消防士が使用するボンベ、更に海外ではバスやタクシーをコスト削減の為、CNG ガスという天然ガスを使用している国もあり、ここでもボンベが使用されています。

この業界の製造メーカーは少ないですが、日本国内全て当社の刻印機を使用していただいております。その実績がかわれ、アメリカやイギリスそして韓国、最近では中国、インドにも輸出できる市場に育て上げる事ができました。

また、建築関係である「仮設パイプ」では、足場である「仮設パイプ」は命に関わる部品のため、国が定める PL 法により必ず刻印で製造会社のマーク、年月を表記します。またこの業界は特別に上記、下期と年度の上と下にラインを入れて表記しています。よって必ず年に 2 回は刻印の受注を受ける仕組みとなっています。

そして、「金」製造メーカーとは、日本では旧財閥である「三菱」と「三井」が取り扱っております。両社に当社の装置と刻印で純度を表す「99.999」を含む各社のマークと重量を表記しています。ちょうど先月、装置の立会いの為、三菱の方がテストサンプルとして 12kg の金を 3 本持って来社しました。金の相場が高騰している為、1 本単価が約 5000 万円相当のもので、総額 1 億 5000 万円です。もちろんガードマン付きで保険をかけた上で来社いただき、私も含めしっかりと記念撮影をさせていただきました。

最後に、皆さんがお酒と同じくらい大好きなゴルフ業界です。ゴルフ業界は私が若き頃からお付き合いがあり、特にミズノには毎日のようにネーム入れ加工し出荷していた経緯がある業界です。昔は取引のお付き合いでドライバー 1 本頂いたりしていましたが、最近は管理が厳しく頂く事ができません。最近は中国で製造している為、当社の設備で加工する製品はプロが使用するクラブや試作品の加工で使用されています。ダンロップの人気商品であるゼクシオやブリヂストンのツアーステージ等のロゴやフェースラインは、当社で加工データを作成し試作した為、今も市場にある製品と同じロゴやフェースラインを加工する事ができます。

当社の刻印機は、一般的には余り目に留まる商品、品物ではありません。しかし、生活するうえで、命に関わる全ての物には、製造する側の責任として刻印を押し、製品の保証や管理がされています。そんな安心して使える製品の下支えが、当社の刻印・刻印機です。

これで当社の紹介とさせていただきます、卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。